

事業実施報告

ONE WORLD FESTIVAL for Youth 2019

わたしたちが描く
持続可能な社会の未来図

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2019

～私たちが描く持続可能な社会の未来図～

開催日:2019. 12. 15



事業の目的

- 1) 将来、世界的な視野を持って、社会課題の解決に向けて行動がとれる次世代の育成
- 2) 関西地域において、高校生を含めた国際協力・SDGs 分野に関わるセクターのネットワークの強化、連携の促進

今まで以上に質の高い充実した国際協力活動を展開してゆくために、本事業を通じ、高校生という早い頃から世界的な視野で社会課題を分析する力を育て、本分野への理解と参加を促します。また、若い世代を中心とした意見交換・情報交換・発表の機会をつくり、国際協力や SDGs の推進に関わる様々なセクター（NGO/NPO などの市民セクター、国際機関、行政や地方自治体、企業、そして高校や大学をはじめとする教育機関など）とつながる場を通じて若い世代のエンパワーメントにつなげます。



背景

グローバル化が進み、相互依存が深まる今日、私たちの生活は国境を越えて人々の生命・生活に深刻な影響を及ぼしています。貧困・飢餓・環境破壊・自然災害・感染症・紛争などの問題はもはや他人事では済まない課題です。そのため、早い段階から国際的な視野を持ち、世界が抱える課題に向き合い、柔軟で斬新な発想をもって解決に向けて行動を起こす人材の育成が求められています。

その一方で、各高校では国際理解教育が取り入れられつつあるものの、高校生たちが学習の成果や研究課題について発表し

共有できるような横断的な機会はほとんどありません。同時に、高校生と国際協力分野に携わる様々なセクター（外務省、JICA、企業、自治体、教育機関、NGO など）をつなげ、情報共有・情報交換の場を提供することも重要な課題となっています。

これらの課題に対応するため、セクターの壁を超えて若い世代の発表や育成の場をつくる高校生のための国際協力 EXPO が 2014 年に大阪ではじめて開催されました。



事業の成果

本年度は、延べ 6000 名が参加（各プログラム参加者総数）、高校生など約 200 名のボランティアが運営を支えました。本年度は62の高校がプログラムに参加しており、スーパーグローバルハイスクールや大阪だけではなく他の地域の高校からの来場やボランティア参加者も年々増えています。イベントを通じ、参加高校生たちは NGO 職員や企業の CSR 担当者とも積極的に交流し、同世代の高校生たちの発表や取り組みに刺激を受けています。アンケートからは、本事業が高校生にとって学習意欲の向上や、ボランティアなど社会参画への意識醸成が読み取れます。また、ワンフェスユース卒業生による大学生グループの組織化や活動の展開など将来の進路選択の機会にもつながっていると考えられます。

このように、事業目標である“社会課題の解決や国際協力に関心を持つ層の裾野拡大、人材の育成”については一定の成果を見いだせると考えています。また、本事業には、高校生実行委員会やボランティアリーダーとして、高校生が企画段階から長期にわたり携わることに独自性と意義があり、高校生の感性と国際協力 NGO の専門性が相乗効果をもたらします。高校の枠を超え、社会や仲間と関わりながら NGO や企業など様々な考えや働き方に出会う経験が、彼らの学び・成長につながり、次の活動の場を見出していく点も高く評価されています。

ワンフェスユース参加者累計（～2019 年度）

延べ **3 万**名以上

高校生実行委員・高校生ボランティアリーダーに参加し、
長期間企画運営に携わった高校生の人数（～2019 年度）

延べ **134** 名



開催概要

名 称	ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2019
サブタイトル	～私たちが描く持続可能な社会の未来図～
開 催 日	2019年12月15日 日曜日 (10:00～16:00)
開催場所	大阪 YMCA (大阪市西区土佐堀 1-5-6)
主催	・ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 運営委員会 ・特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会
協力	・大阪大学 CO デザインセンター ・公益財団法人 大阪 YMCA ・一般社団法人 ソーシャルギルド ・ワンフェスユースOV会 ・ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生実行委員会 & ボランティアリーダー
後 援	外務省、文部科学省、JICA 関西、大阪府教育委員会、 ESD 活動支援センター、近畿地方 ESD 活動支援センター、 大阪府国際交流財団、開発教育協会 (DEAR)、朝日新聞社
協賛	リタワークス株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、 アサヒワンビールクラブ、真如苑、ジブラルタ生命保険株式会社、 日本労働組合総連合会大阪府連合会 (連合大阪)、近畿労働金庫、 株式会社マイチケット、泉南乳業株式会社
補助金・助成金	・外務省 NGO 事業補助金事業 ・積水ハウスマッチングプログラム助成事業 ・近畿ろうきん・社会貢献預金 (笑顔プラス) 寄付金 ・日蓮宗あんのん基金助成事業
当日参加者	延べ 6,000 名 (各プログラム参加者総数)
当日ボランティア	約 200 名 (運営ボランティア、高校生レポーター、警備ボランティアを含む)
プログラム数	25 プログラム
参加団体数	高校・高校生団体 62 校、NGO38 団体 企業・大学・国際機関ほか 17 社・団体
運営事務局	特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会 〒530-0013 大阪市北区茶屋町 2-30 4 階 TEL 06-6377-5144 FAX06-6377-5148 MAIL youth_expo@kansaingo.net URL http://owf-youth.com

高校生実行委員会

本年度は、関西地域の公立・私立高校より計 11 名が集まり、ワンフェスユース企画の要として活躍しました。

9 月から会議を重ね、プログラムの企画・立案、広報、当日の運営、イベント後の振り返りまでを行い、協力してイベントを作り上げました。また、企画づくり、講師への依頼や打合せも高校生たちが中心に進めました。協働企画では高校生が企画づくりから主体的に関わることによって、国際協力分野の専門性の高い内容であっても若い世代が参加・理解しやすいよう工夫しています。同世代のメンバーとの協力、NGO 職員や企業関係者との協働のなかで、様々な考え方や働き方に出会い、高校生自身が学び、社会と関わりながら成長していきます。

高校生実行委員プログラム

9 月よりたくさんの時間をかけて高校生実行委員が企画を進めた、持続可能な社会を描く協働プログラム。

楽しく世界の現状を伝え、次のアクションにつなげるための工夫を凝らし、同世代へ働きかけるプログラムを作り上げました。

無関心に立ち向かおう！

～戦争で武器になっている性暴力～

3 階 302 <13:00-14:30>

【協力・講師】栗田佳典さん((特活)テラ・ルネッサンス)

&テラ・ルネッサンス大学生インターンの皆さん

【企画】高校生実行委員会



パラリンピック競技体験&クイズ

9 階 903 <13:45-15:15>

【協力・講師】大阪府立大学ポッチャ部

&四條畷学園大学の皆さん

【企画】高校生実行委員会



開会式：Youth が宣言する持続可能な地球社会！

10 階 101 <10:00-10:30>

【主催】高校生実行委員会、高校生ボランティアリーダー

【協力】(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン



閉会式：未来のはじまり

2 階ホール内 <15:30-16:00>

【主催】高校生実行委員会

&高校生ボランティアリーダー



高校生ボランティアリーダー

本年度は、関西地域の公立・私立高校より計 12 名が集まり、企画運営の中心として活躍しました。

10 月からミーティングを重ね、ワンフェスユース当日には 130 名以上の運営ボランティアをまとめるリーダーとして活躍しました。高校生たちはイベント準備を通じて、ボランティアリーダーの役割の重要性に気づき、ボランティアマネジメントへの理解を深めました。自分の意見を述べたり、人前で話をしたりする経験が高校生の自信や成長につながります。さらに発展して、自ら積極的に他のボランティア活動に参加していく姿もみられました。

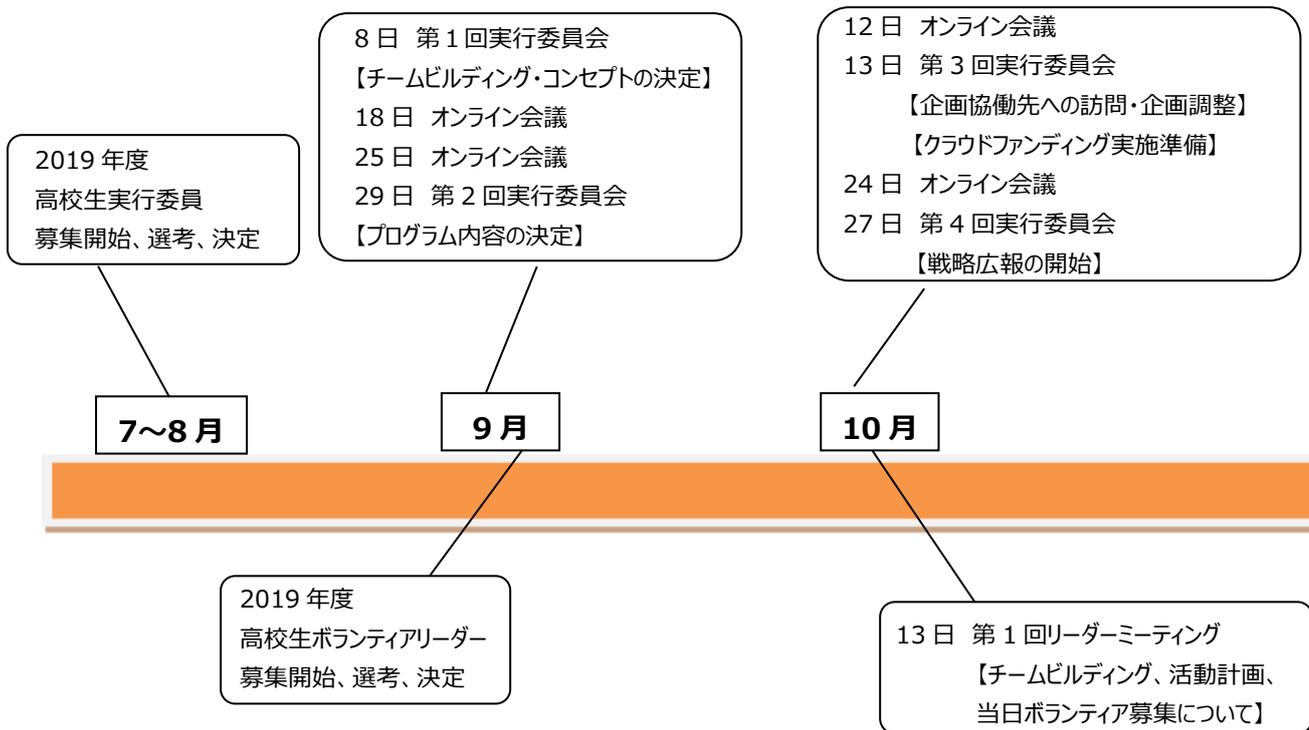


ワンフェスユース OV 会

これまでのワンフェスユースで活動したことがあるメンバーが、OV (Old Volunteer) として組織化し、高校生リーダーのサポートをしました。高校生リーダーの募集や選考やミーティングのコーディネートなどを通して、これまで以上にワンフェスユースに深く関わりました。過去の経験を活かしながらも、現役の高校生リーダーの主体的な活動をサポートする工夫することで、ワンフェスユース OV 会メンバー自身が、さらに新しい視点やノウハウを得ることができ、組織的に見通しを持ち、計画を立てられるようになりました。



年間の動き



高校生実行委員からのコメント

企画、運営していく中で、準備の重要性、そして自分たちで力を持ち寄ってワンフェスユースを開催することがどれほど大変なのかを感じました。しかし、一度も手を抜きたいと思わなかったのは、それ以上のやりがいを準備段階から感じていたからです。さまざまな学校や団体との新しいコミュニティは私にとって新鮮で大切な場所になりました。

2019年度高校生実行委員メインフォーカル
岩田 和桜

大変なこともあったけれど、実行委員のみんなと協力して乗り越えることができました。また、たくさんの方からのご支援のおかげで、ワンフェスユースを成功させることができました。

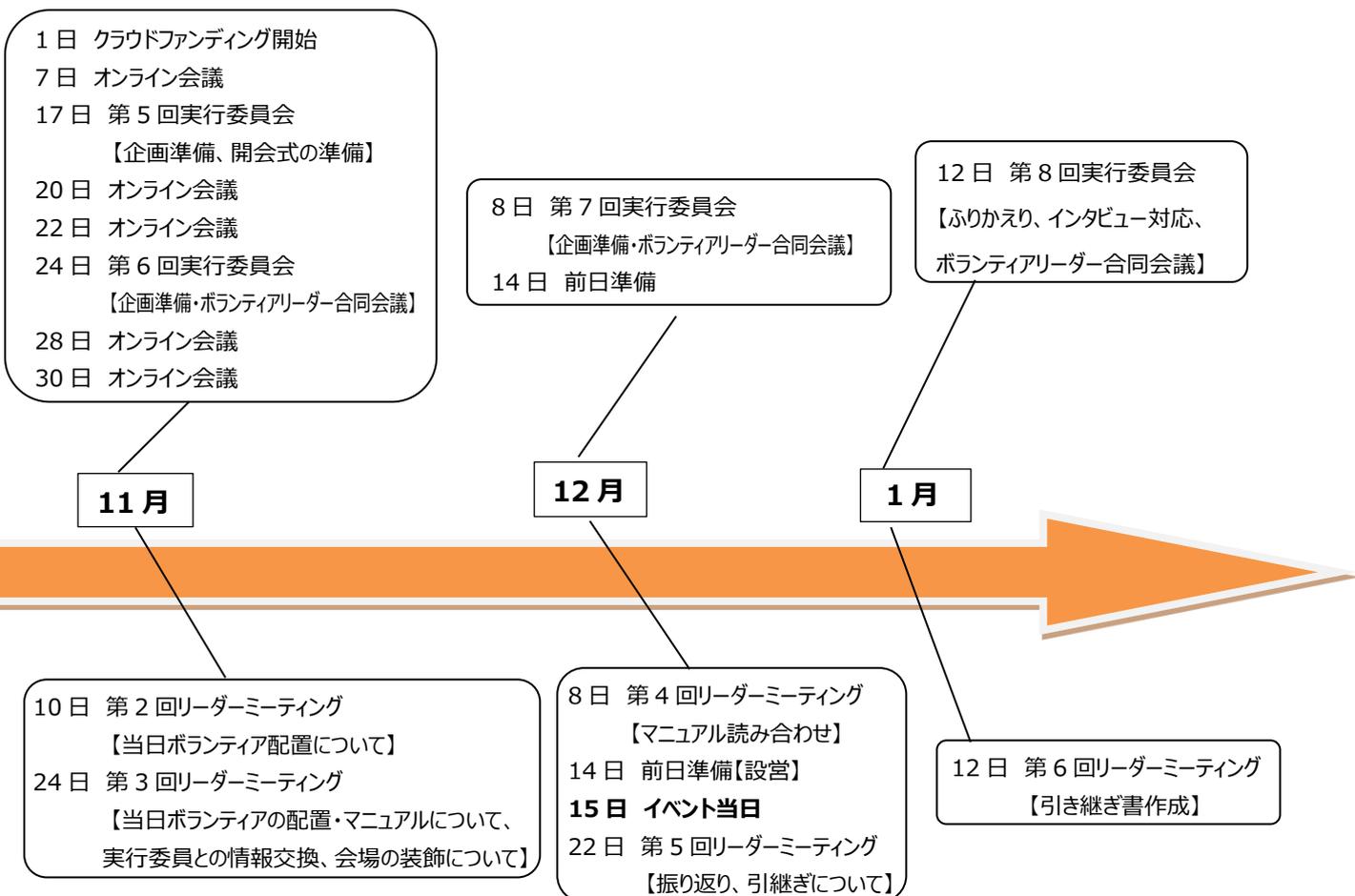
感謝の気持ちでいっぱいです。

2019年度高校生実行委員パラリンピック競技体験&クイズプロジェクトサブリーダー 田村 珠真

ワンフェスユース高校生実行委員という経験を通して、私自身がたくさんのことを学びました。また、私の周りの人や当日ワンフェスユースに来てくださった方にもたくさんのことを知っていただけではないかと思います。

このイベントや世界のことを広めていくとともに、私の今後の活動にも活かしたいと思います。

2019年度高校生実行委員 野田 侑貴子



高校生ボランティアリーダーからのコメント

始める前はイベントを成功させることができるか不安でしたが、ボランティアリーダーや実行委員、ワンフェスユースOV会の方やその他携わってくださった皆さんのおかげでイベントは成功しました。私はこの活動でしっかりと自分の孝えを持っていて、行動に拘っている方に出会い、とても刺激を受けました。

また、この活動を通してさまざまな孝え方を持っている人に関わり、私の孝え方は一つの孝えに過ぎないことを知りました。ワンフェスユースを通して学んだことをこれからに活かしたいと思います。

2019年度高校生ボランティアリーダー
山本 玲菜

ワンフェスユースOV会からのコメント

私にとってワンフェスユースは学びの場でもあり実践の場でもあります。大学生になった今、私は高校生の皆さんに、このワンフェスユースを「新たな自分に出会い、次の一步を踏み出す場所」にしてもらいたいという想いで、日々素敵な学びの中で活動させていただいています。

2019年度ワンフェスユースOV会 熊 亮太郎

私は高校生のときリーダーとしてワンフェスユースに参加しました。大学生になり、今年度はワンフェスユースOV会という立場で高校生の主体的な活動のサポートをする中で、高校生のときは感じられなかった新たな視点を得ることができました。今後もそれらを活かしていきたいです。

2019年度ワンフェスユースOV会 米川 愛



高校生のための国際協力助成プログラム

高校生の“課題解決へ向けて一歩踏み出したい”という気持ちを支援する取り組みとして、実践したい国際協力・SDGs 達成に向けたコンペティション大会を実施。本プログラムは、成果が見込めるプランを、表彰の上、活動費（上限 5 万円）を提供し、その後フォローアップ支援を行います。本プログラムは高校生たちの活動プランの “first step” を応援しています。本年度は、東アジア青少年歴史体験キャンプ「NEXT SEOUL 2020」、ノートルダム女学院高校「Mirai ミール」の 2 つの活動が助成先として選ばれました。また、昨年度の採択団体からは 1 年間の活動成果の報告を行いました。

高校生のための国際協力助成プログラム コンペティション大会 2019

3 階 302 <10:30-12:30> 【協賛】リタワークス株式会社

【参加人数】：122 名 【応募総数】16 チーム

【出場校・チーム名】★印は採択チーム

★東アジア青少年歴史体験キャンプ「NEXT SEOUL 2020」／

立命館宇治高校「ななよた」／神戸市立葺合高校「タンザニー」／

★ノートルダム女学院高校「Mirai ミール」



高校生のためのポスターセッション

高校生たちが国際協力や SDGs、多文化共生社会について研究し、成果を発表しました。この場を通して国際問題に興味を持っている高校生が学びあい高め合いました。多数の応募の中からファイナリスト 9 チーム、セミファイナリスト 9 チーム、応援枠 4 チームを選出し、NGO 職員や教員が当日審査を行いました。審査員が特に共有して欲しいと判断したチームは 2 階ステージにて、プレゼンテーションを実施しました。

高校生のためのポスターセッション

2 階ロビー

【参加人数】：1394 名 【応募総数】89 チーム

出場校（学校名・発表タイトル）：

【第 1 部】ファイナリスト<10:40-12:30>

★印は入賞チーム、☆印は人気投票入賞チーム

★☆ノートルダム女学院高校『どんな人でも支えられる社会にするに

は』／★兵庫県立尼崎小田高校『Stop Increasing Micro

Plastic』／★神戸市立葺合高校『Support for teenage mothers who do not take prenatal』／★神戸市立葺合高

校『The Housebound Elderly』／☆ノートルダム女学院高校『私たちが男女平等のためにしたい 10 のこと』／神戸市立葺合高

校『ファストファッションの影』／兵庫県立高砂南高校『SAVE THE CHILDREN』／兵庫県立高砂南高校『地球の未来は誰が守る

の？』／兵庫県立尼崎小田高校『Let's play Sugoroku: Understanding Disaster prevention!』

【第 2 部】セミファイナリスト<12:30-16:00> ☆印は人気投票入賞チーム

☆神戸市立葺合高校『Supporting foreign visitor's good travel in Japan without threat of earthquake』／桃山

学院高校『世界のすべての子どもたちに教育を』／立命館宇治高校『核兵器廃絶』／大阪府立住吉高校『あなたが眠りつく頃に～1 人

でも多くの関心を』／立命館宇治高校『児童労働 わたしたちには何ができるのか』／立命館宇治高校『スラム街における貧困問題』／立

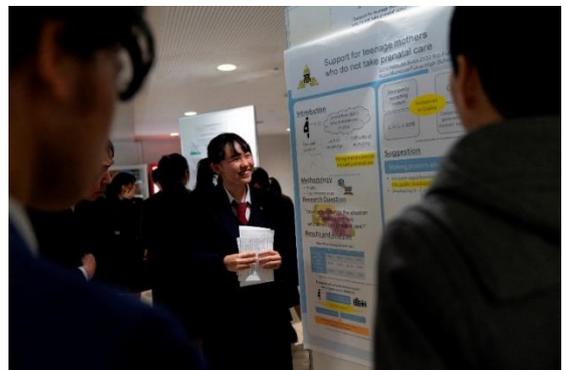
命館山高校『先進国のプラスチックゴミ増加』／バットボトル削減で地球を笑顔に』／福岡雙葉高校『未来あることもたちに沢山の目×

芽を』

応援枠 ※当日発表のみ、当日審査の対象外

立命館宇治高校『難民問題～解決のために動く～』／立命館宇治高校『人種差別をなくすことができる』／中京大学附属中京高校

『For the bright future』／箕面自由学園高校『誰一人とり残さないコミュニティの在り方』



ブース出展

国際協力や SDG s 推進に関連する活動を行う高校・NGO・大学・企業・団体がブース出展を行いました。高校生によるブースでは、同じ世代へ向けて日頃の活動を紹介する場として活用されました。また、企業ブースでは社会貢献活動の取り組みの紹介、NGO・大学・学生団体ブースでは、取り組む課題に対する知識の普及や、多文化共生・国際協力活動を紹介しました。世代やセクターを超えたつながりづくり、情報共有の場としても活用されました。

ブース出展

2 階ホール <10:00-16:00>

【参加人数】2062 名

【参加団体数】50 団体

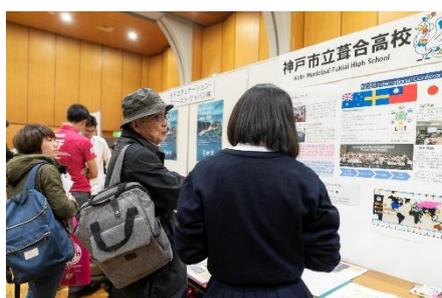
参加団体：

【高校・高校生団体】大阪暁光高校 FTC 部／大阪府立佐野高校ユネスコ部／大阪府立東住吉高校生徒会ボランティア部／大阪府立東淀川高校／大阪府立松原高校／大阪 YMCA 国際専門学校(IHS)／京都私学フェスティバル実行委員会／京都府立北稜高校天文地学部／近畿大学附属豊岡高等学校 ESS／ノートルダム女学院高校 グローバル英語コース／兵庫県立兵庫高校／桃山学院中高 SBS (School By School) ／立命館宇治高校 JOGE JOGE BHUTAN 2019／神戸市立葺合高校／神戸龍谷高校 JVC／東アジア青少年歴史体験キャンプ／箕面自由学園高校／APV (高校生団体) ／KCGL pito／ICS (大阪市立水都国際高等学校)

【NGO・NPO / 学生団体】(公社) アジア協会アジア友の会 (JAFS) ／(一財)アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪) ／(公社) アムネスティ・インターナショナル日本 関西連絡会／Wake Up Japan／(公財)AFS 日本協会／(特活) AM ネット／(特活) CODE 海外災害援助市民センター／(特活) 国際地雷処理・地域復興支援の会／(一社) コミュニティ・4・チルドレン／(公社) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／(特活) テラ・ルネッサンス／(公社) 日本キリスト教海外医療協力会 関西事務局／ハンガーゼロ／(特活)フェア・プラス／(特活) Future Code／(特活) フリー・ザ・チルドレン・ジャパン／(特活) 緑の地球ネットワーク／青年海外協力隊大阪府 O B ・ O G 会／(特活) 関西国際交流団体協議会／神戸外大ハビタット

【企業・大学・その他】

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社／プロジェクトアブロード／京都外国語大学・京都外国語短期大学／Gochiso 株式会社／JICA 関西／(一社) 進路指導・キャリア教育支援機構 OCES／外務省 N G O 相談員





高校生活動報告会

高校生が日頃の研究成果、実際に体験した途上国でのフィールドワークやスタディツアーなどについて高校生自身が報告を行いました。社会の課題や国際問題について、高校生同士がディスカッションや質疑応答を行い、学びを深める報告会の場となりました。

高校生活動報告会

立命館宇治中学校・高校「立宇治 PBL 国際課題研究発表会」

8階 808 <10:30-11:30>

「第6回アジア・ユースサミット(AYS)報告会」

8階 809 <12:30-13:45>

兵庫県立兵庫高校、桃山学院高校「海の向こうで出会った、私たちのストーリー。」

8階 811 <12:00-14:00>

立命館守山高校、神戸龍谷高校「共に生きるって何だろう、平和を考える旅。」

8階 812 <13:30-14:30>

「ユネスコ協会 ESD パスポート 体験発表会」

9階 903 <10:00-13:00>



カフェ・ワンワールド 2019

アジアやアフリカなど世界の料理を手ごろな価格で提供。高校生が利用しやすい多国籍料理のカフェを実施しました。同時に、高校生がネパールのチャイや東ティモールのフェアトレードコーヒー、ポップコーンなどを販売。食を通じて世界を感じる場となりました。

カフェ・ワンワールド 2019

10階 101 <11:30-15:30>

【主催】(公財)大阪 YMCA

出展店舗

- ・インドネシアンキッチン BAGUS
- ・ハーブ・スパイスキッチン
- ・大阪府立佐野高校 (ネパールのチャイ)
- ・大阪 YMCA 国際専門学校 i-COSY (東ティモールピースコーヒー)
- ・大阪府立松原高校 (ポップコーン)



高校生対象のさまざまなプログラム

NGO・NPO や企業等が高校生を対象にした国際協力・多文化共生を考えるワークショップや、高校生たちの日頃の国際協力活動・ボランティア活動を紹介するプログラムを出展しました。また、外務省「NGO 相談員」ブースでは NGO のスタッフが国際協力等に関する相談ブースを設けました。参加高校生は国際課題に関心を寄せ、学びを深めていきました。

スポークン・ワード -想いが人を動かす-

8階 803 <10:45-12:15>

【企画・講師】鈴木洋一さん
(Wake Up Japan)

【参加人数】26

英語で学ぶ! 世界最大級スポーツイベント

9階 904 <10:30-15:30>

【講師】Garrek Stemo さん
【企画】イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン (株)
【参加人数】6

Diversity Workshop ~これからの多様「性」社会~

8階 810 <13:00-14:00>

【企画・講師】藤川瞭さん(立命館宇治中学校・高校講師)、立命館宇治高校3年生
【参加人数】20

私たちの大阪万博、SDGs そしてカジノ?? ~私たちの描く持続可能な大阪の未来を考える~

8階 808 <13:00-14:30>

【企画・講師】(特活)AM ネット、
(公社)大阪自然環境保全協会、
どないする大阪の未来ネット他

【参加人数】13

チェンジメーカーになって WE Dayに参加しよう!

8階 803 <13:00-14:30>

【講師】鈴木洋一さん(Wake Up Japan)
【企画】(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

【参加人数】16

同じをこえて ~多様性と人権~

8階 802 <10:45-12:15>

【講師】李ぼんみさん((特活)KARALIN)
【企画】(一財)アジア・太平洋人権情報センター
(ヒューライツ大阪) 【参加人数】39

海外の被災地は 私たちとつながっている?

8階 807 <13:00-14:30>

【企画・講師】吉椿雅道さん
((特活)CODE 海外災害援助市民センター)
【参加人数】7

言語の壁を越える能力って何?

9階 904 <14:00-15:30>

【実施】(公財)大阪公衆衛生協会
【協力】ワンフェスユース運営委員会
【監修】林田雅至さん
(大阪大学COデザインセンター教授)

【参加人数】26

ワークショップ 「子どもを守る」国際協力

8階 807 <11:00-12:30>

【企画・講師】川口真美さん
(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン/アドボカシー室

【参加人数】36

世界遺産を楽しもう そのコツを教えます

8階 809 <14:15-15:15>

【主催】大阪府ユネスコ協会 ESD パスポート担当者会議
【協力】がんばろう! つばさネットワーク
【参加人数】33

フェアトレード高校、大学、街の 今が分かる

8階 802 <13:00-14:30>

【企画・講師】小吹岳志さん
((一社)日本フェアトレードフォーラム理事)
【参加人数】6





ご支援・ご協力くださった皆さま（敬称略）

＜ご協賛企業のみなさま＞ リタワークス株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、真如苑、アサヒワンプールクラブ、ジブラルタ生命保険株式会社、日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）、近畿労働金庫、株式会社マイチケット、泉南乳業株式会社

※外務省 NGO 事業補助金事業 ※積水ハウスマッチングプログラム助成事業

※近畿ろうきん・社会貢献預金（笑顔プラス）寄付金 ※日蓮宗あんのん基金助成事業

＜ワンフェス・ユース公式バッグご提供＞ イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社

＜プロジェクト・機材貸出＞ 公益社団法人アジア協会アジア友の会、認定 NPO 法人テラ・ルネッサンス、大阪府立北摂つばさ高等学校、一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、公益財団法人大阪 YMCA、神戸龍谷高等学校

＜当日会場警備のご協力＞ ジブラルタ生命保険株式会社 社員ボランティア

＜クラウドファンディングへご支援いただいたみなさま＞

【支援者数】85 名 【支援総額】349,000 円（掲載を許可いただいた方のお名前のみ掲載しております）

江角 泰、杉岡秀紀、田辺セレン、加納優梨香、武田かおり、大西友美子、谷合正年、松井美智留、ジョーンズかおり、山本佳史、生駒啓子、江里口さくら、伊藤 徹、岩井博子、林田雅至、Kohno May、田中 操、後藤裕美、金丸雅子、上原浩二、宇井雅子、勝丸大規、宇都宮啓昭、米田 穰、中貝宗治、濱上達也、井藤真由美、山岸周平、津高絵美、熱田典子、田中めぐみ、藤井裕子、田村英樹、田中辰徳、小森弘詞、谷川詩織、吉田歩生、北原仁美、安里佳世子、赤木千秋、草分昌子、細見照美、細見伊吹、岩崎裕美、客野英樹、ウエノ、窪田 勉、高橋美和子、岩田りつ子、森本 斉、吉田愛子、栗田佳典、金丸浩樹、草分隆司、岡島克樹、佐野光平

＜高校生のための国際協力助成プログラム 審査員＞ 【審査委員長】林田雅至（大阪大学 CO デザインセンター・教員）

【審査員】熱田典子（(公社)アジア協会アジア友の会）、山上正道（(特活)AMDA 社会開発機構）、佐藤正隆（リタワークス(株)）

＜高校生のためのポスターセッション 審査員＞ 【審査委員長】岩崎裕保（(特活)開発教育協会）

【審査員】石崎雄一郎（ウータン・森と生活を考える会）、東川貴子（(特活)緑の地球ネットワーク）

【事前審査】片田孫朝日（灘中学校・高等学校・教員）、安里佳世子（大阪府教育センター）



運営体制・委員会構成

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2019～私たちが描く持続可能な社会の未来図～は、ワンフェスユース運営委員会（*1）、（特活）関西 NGO 協議会（事務局）が主催する事業です。運営委員会をはじめとする主催団体が資金の調達・管理、事業運営を担います。高校生実行委員会（*2）は企画の立案・広報・クラウドファンディングや当日の実施を担当し、参加者に近い視点から企画運営を担っています。さらに、ボランティアリーダーチーム（*3）が当日ボランティアの統括を担当し、企画運営側と当日ボランティアをつなぐ役割を果たしました。

*1：ワンフェスユース運営委員会は、高校教員・大学教員・NGO 職員・関西 NGO 協議会職員で構成。

*2：高校生実行委員会は関西地域の公立・私立高校より計 11 名の高校生で構成。

*3：関西地域の公立・私立高校に通う 12 名の高校生で構成。彼らの活動をワンフェスユース OV 会の高校生・大学生がサポート。

高校生実行委員会

岩田秋桜、草分希海、地黄ありさ、下園力良、ジョーンズ陸、鈴木千花、田中杏実、田村珠真、野田侑貴子、平川桃那、松井美華

高校生ボランティアリーダー

池田有里栞、一ノ瀬裕斗、大西康貴、大丸かりん、小野伶香、金森綾音、寺谷実花、中井莉緒、西村彩花、濱田優也、宮川野乃花、山本玲菜

ワンフェスユース OV 会（*4）

熊亮太郎、仲子侑希、林徹郎、南知里、横田藍子、米川愛



*4：ワンフェスユース OV 会の運営及び当日ボランティアコーディネートを（公財）大阪 YMCA、（一社）ソーシャルギルドがサポート。

運営委員会

【日程】①7/6 ②8/31 ③10/2 ④11/14 ⑤12/5 ⑥1/14

【運営委員長】林田雅至（大阪大学 CO デザインセンター教員）

【副運営委員長】杉浦真理（立命館宇治中学校・高等学校教員）、栗田佳典（認定 NPO 法人テラ・ルネッサンス）

【監事】坂西卓郎（公益財団法人 PHD 協会）、田中めぐみ（京都女子中学校・高等学校教員、東アジア青少年歴史体験キャンプ）

【運営委員所属】大阪市立水都国際高等学校、大阪府教育センター、大阪府立渋谷高等学校、大阪府立北摂つばさ高等学校、大阪府立松原高等学校、大阪 YMCA 国際専門学校、京都女子中学校・高等学校、兵庫県立兵庫高等学校、神戸龍谷中学校高等学校、灘中学校・高等学校、立命館宇治中学校・高等学校、立命館守山中学校・高等学校、東アジア青少年歴史体験キャンプ、大阪大学 CO デザインセンター、（公社）アジア協会アジア友の会（公財）大阪 YMCA、（特活）開発教育協会、（特活）テラ・ルネッサンス、（公財）PHD 協会、（特活）関西 NGO 協議会

報道等

【朝日新聞：2019年12月15日（日）号外】



【朝日新聞：2019年12月16日（月）】



高校生による

ONE WORLD FESTIVAL for Youth 2019

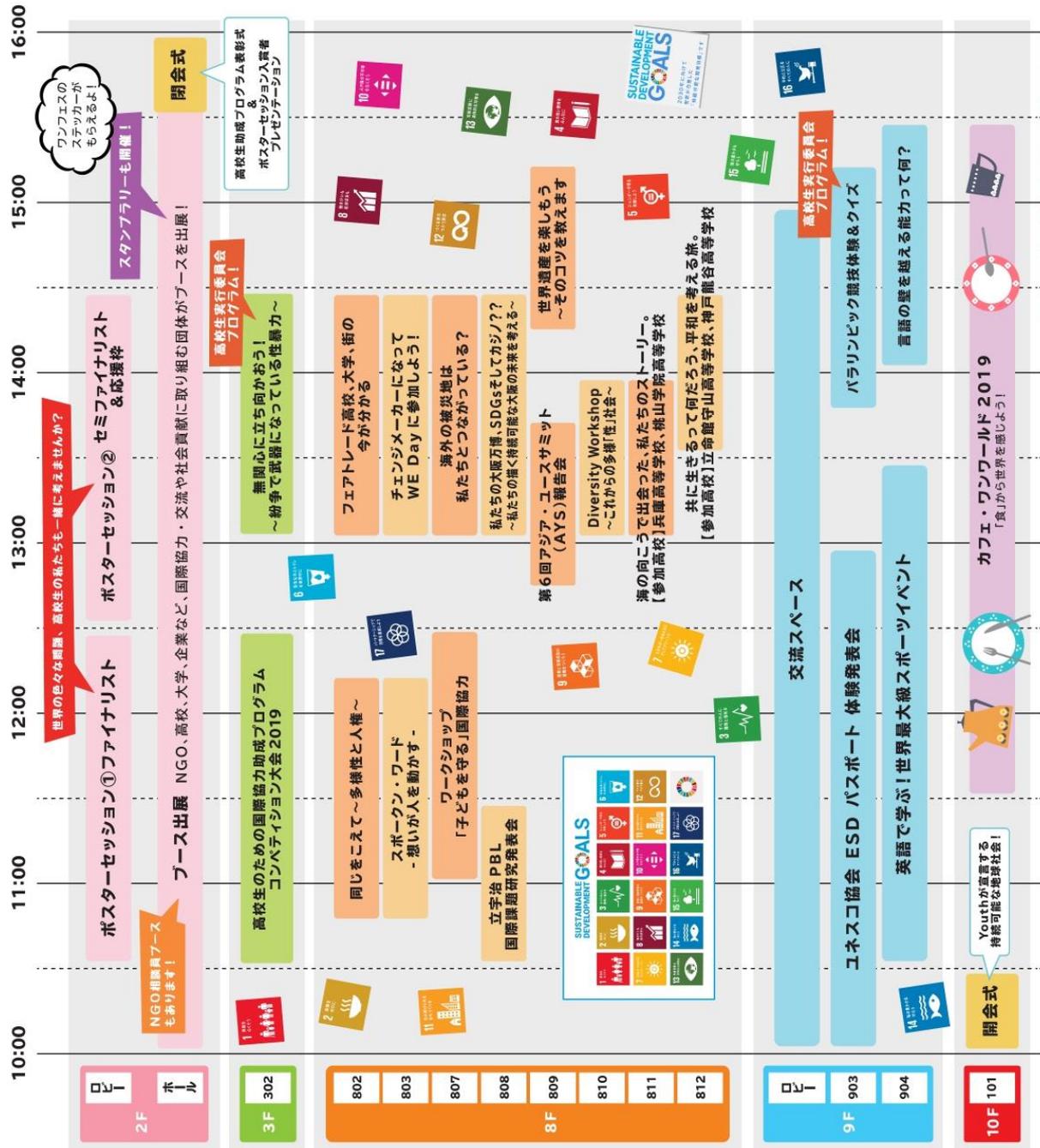
わたしたちが描く
持続可能な社会の未来図

ワンフエス for Youthってなに？

今日までさまざまな視点から取り組まれていた「国際協力／SDGs」の取り組み。問題を知らずして、解決に向けて何かアクションを起こしたいという若者が今増えています！そんな方たちのための「最初の一步」となる、高校生がつくる、高校生のための国際協力フェスティバルです。今年度から「わたしたちが描く持続可能な社会の未来図」を新たなコンセプトに高校生たちが「高校生実行委員会」「ボランティアリーダー」として夏から定期的に集まり、全体コンセプトの決定、企画、運営、広報など準備を進めてきました。



【参考資料：当日タイムテーブル】



*プログラムの内容・時間は変更になる場合があります。

フロアマップ



高校生が中心になって考えた企画や
高校生向けのプログラムがたくさん！

困ったときはボランティアリーダーや
高校生実行委員にお声かけください！



高校生実行委員は 赤色のパーカー、
ボランティアリーダーは 白パーカー
を着ています！



※本部は4階にございます

作成日:2020.3.6

特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会/Kansai NGO Council

〒530-0013 大阪市北区茶屋町 2-30

TEL 06-6377-5144 FAX 06-6377-5148

E-mail: knc@kansaingo.net URL: <http://www.kansaingo.net>